

# 創業計画書「3. 必要な資金及び調達の方法」の記載の考え方

**2. 創業準備の着手状況（税務申告1期以上終了している者は記入省略可）**  
 下記の該当事項に○印を付けて下さい  
 ア 設備機械器具等発注済である。  
 イ 土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。  
 ウ 土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。  
 エ 商品・原材料の仕入を行っている。  
 オ 事業に必要な許認可を受けている。  
 カ 事業に必要な許認可取得未了（許認可取得見込み（申請状況や取得予定時期等）を具体的に記入してください。）  
 ( )  
 キ その他（具体的に記入して下さい）

**3. 必要な資金及び調達の方法（税務申告1期以上終了している者は記入省略可）**  
 次の(1)又は(2)のいずれかにチェックのうえ、自己資金割合が満たしていることをご確認ください。  
 税務申告1期末終了の創業者のうち、会社設立済であり売上高の計上がある者は(1)又は(2)のどちらかにチェックの上確認でも可。

(1) 税務申告1期末終了の創業者

必要な資金		金額(千円未満切捨)	調達の方法		金額(千円未満切捨)
設備資金	不動産取得費、内装工事費、敷金、入居保証金、機械設備、什器備品など(内訳)	千円	普通預金	千円	
			定期性預金	千円	
			有価証券等	千円	
			入居保証金等	千円	
			設備充当等	千円	
			その他	千円	
				千円	
小計(A)			千円		
運転資金	仕入資金、経費支払資金など(内訳)	千円	親戚・知人等からの借入(内訳)		
				千円	
				千円	
			金融機関からの借入(内訳)		
				千円	
小計(B)			千円		
合計		千円	合計(C)=(A)+(B)		千円
自己資金割合確認欄			(A)÷(C)		

※創業時の資金計画で自己資金割合を算出し、(A)÷(C)≥1/10(0.1)

(2) 税務申告1期末終了の創業者のうち会社設立済であり売上高の計上がある者

自己資金割合確認欄		金額(千円)
資本金(D)		千円
借入金等(E)		千円
(D)÷((D)+(E))		

※里込版の試算表等で自己資金割合を算出し、(D)÷((D)+(E))≥1/10(0.1)

**【自己資金】**

- 預金には、原則として現在残高ではなく、創業当時の資金計画における預金及び代表者からの借入金を計上する。但し、有価証券等～設備充当等に充てた分を除く。また、代表者以外からの借入により増加した預金も除く。
- 有価証券等～設備充当等には、創業時に現物出資したもののほか、創業当時の資金計画における預金及び代表者からの借入により購入したものを計上し、代表者以外からの借入で購入したものは計上しない。

**【借入金等】**

- 本欄の借入金等には、原則として当初借入金額を計上する。
- 代表者からの借入金は計上しない。
- 本件（SSS保証）の申込金額を計上する。

**【合計】**

- 「必要な資金」の合計と「調達の方法」の合計を一致させる。

**【資本金・借入金等】**

- 本欄の借入金等には、現在残高を計上する。
- 代表者からの借入金は計上しない。
- 資本金、借入金等は、原則として試算表で確認する。但し、商業登記簿謄本で資本金を、総勘定元帳や返済予定表等で借入金等を確認することも可能。
- 本件（SSS保証）の申込金額は借入金等に計上しない。